

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

令和5年7月28日

#健康管理士 村山 章

5月25日長野県中野市で悲惨な事件がありました。「男が女性を刺した」という110番通報があり、警察が現場に駆けつけたところ男が警察官に猟銃のようなものを発砲し警部補と巡査部長の二名が死亡しました。近所に住む女性二名も巻き込まれ、計四名死亡という痛ましい惨事となりました。女性二名が殺害された理由は、「バカにされたと思った」ということでしたが、見ず知らずの女性にバカにされることはないと思います。なぜこのような悲惨な事件が起きるのでしょうか。容疑者は中野市議会の議長の息子で約12時間立てこもったのは自宅でした。崩壊してしまった家庭のなかで、どこまで会話が行われていたのでしょうか。

望まない孤独は、真実を見えにくくします。私も20代前半に経験しました。それまでは同年代の方々と仕事をしていたのですが、両親を田舎から呼んで、見ず知らずの越谷で洗濯屋を始めました。突然、両親と私の三人で仕事をするようになったのですが、お互いに話が合いませんし、環境が180度変わってしまった反動は、予想以上に大きかったのだと思います。当時は20代前半ということもあり、次第に孤独を感じていきました。そのとき半村良氏の、ある小説に救われたのです。その小説は男女がドライブでデートしているシーンから始まります。読んでみると、私も生きていたら女性とデートができるかもしれないと思いました。そこまで落ち込んでいたんですね。

仕事を続けるうちに、越谷でも徐々に知り合いができ、地元の飲み屋さんにも行きました。税金の申告で越谷市の商工会に行った際には、担当者から商工会青年部ができたので入会しないかと誘われ、もちろん入会しました。この会からも知り合いがたくさんできました。

望まない孤独は、本人にとっては本当に辛いものですが、失業や死別など孤独になる可能性は誰にもあります。頼れる人につながるることができる人間関係をつくっておきましょう。